

15番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 持続可能な公園等の施設整備について</p> <p>【質問趣旨】 さらに進む高齢化社会にあって、健康器具（健康遊具）は、健康を維持するための重要なアイテムになると考える。散歩途中に立ち寄れる公園内に、健康器具を市民ニーズに合わせて施設更新をしていくことで持続可能な公園等の施設整備としていく方法がある。健康を維持増進するためには、適度な運動の維持が必要であり、幼少期では心身の発達、成年期では生活習慣病予防、高齢期ではフレイル予防となる。こうした施設更新への市民ニーズの反映が重要であると考え。</p> <p>→次ページに続く</p>	<p>(1) 市内の公園にある健康器具（健康遊具）の設置基準について</p> <p>(2) 公園内の遊具等への市民ニーズの反映について</p> <p>(3) 施設更新及び維持管理体制について</p>	<p>① 市内には、健康器具（健康遊具）のある公園とない公園がある。健康器具（健康遊具）のある公園としては、南公園や菱野団地内のちびっこ広場に数カ所設置されている。設置に至った経緯を質問する。</p> <p>② 健康器具（健康遊具）のない都市公園もある。設置基準はあるのか質問する。</p> <p>① 瀬戸市全体の公園整備について、既存の子ども向け遊具の整備から、成年期から高齢期までが利用できる、時代のニーズに対応した健康器具（健康遊具）を含めた、遊具への更新を進めていくことや、昨今の気候変動を見据えた取組みとして、環境に優しく配慮した公園整備の検討はあるのか質問する。</p> <p>② 公園のある立地環境によって、人口動態や市民ニーズは異なる考える。市民ニーズの把握と反映は重要である。市民から要望等はどのような方法を採用していくことが有効と考えるのか質問する。</p> <p>③ 市民要望は、様々な所管（こども未来課、健康課、高齢者福祉課、スポーツ課、自治会等）からいただく可能性がある。どう連携し、反映していくのか質問する。</p> <p>① 一例として、公園を管理する所管が異なる「瀬戸市民公園」がある。その場合、遊具の更新については、どこが実施し、維持管理体制はどこが担っていくのか。施設更新及び維持管理体制の基本的な考え方を質問する。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

15番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>一方で、公園等の施設を含む施設整備については、特に、瀬戸市民公園内にある瀬戸市民体育館周辺の駐車場は、土日祝を中心に時間帯によって満車である。イベント等開催時には、駐車するスペース以外に駐車している運営上の課題のある状態も起きている。</p> <p>持続可能な公園等の施設更新・運営・維持管理ができるよう、中長期的な視点で、公園を含む公共施設等の運営・財政確保の仕組みを検討する必要があると考える。そこで、ネーミングライツの進捗や施設駐車場の一部有料化、指定管理業務の活用等、持続可能な公園等の施設整備の今後の進め方等の考え方を質問する。</p>	(4) 持続可能な公園等の施設整備の今後の進め方について	<p>① ネーミングライツの有効性について、2018年12月定例会において一般質問している。ネーミングライツの導入については、メリットとしては企業や団体のスポンサーシップを受けることで、施設更新や維持管理の財源の確保ができる。考慮する点としては公園の公共性を損なわないよう、ネーミングの方向性を慎重に検討する必要があると考えられる。ネーミングライツの進捗について質問する。</p> <p>② 例えば、瀬戸市民公園駐車場の一部有料化について、メリットとしては利用者負担の考え方にに基づき、財源確保が可能。長時間の駐車による不適切な利用を防ぐ効果がある。考慮する点としては市民の利便性を損なわないように、最初の1、2時間は無料、市民割引の導入等の工夫が必要である。利用者以外の駐車場利用を「制限する仕組み(利用者認証等)等」が考えられる。駐車場の一部有料化について市としての考え方を質問する。</p> <p>③ 指定管理業務の活用の中で、メリットとしてはコスト削減とサービス向上を両立させられる可能性がある。考慮する点としては公共性を損なわず、市民の意見を反映する仕組みが必要である。更なる指定管理業務の活用について市としての考え方を質問する。</p> <p>④ 瀬戸市民公園の運営・財政確保の仕組みを検討するため、ネーミングライツ、駐車場の一部有料化、指定管理業務の活用等、健康遊具・施設更新の優先順位等を把握するためにも、まずは市民ニーズ調査から実施してはどうか。中長期的な視点で、持続可能な整備計画の策定を提案したい。市としての考え方を質問する。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

15 番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>2. 大規模災害時の避難所の環境整備について</p> <p>【質問趣旨】 新しい地域経済・生活環境創生交付金が創設され「地域防災緊急整備型」は、国庫補助率は2分の1。地方負担分に対して地方財政措置が取られるため実質的な地方負担はない。こうした交付金は、避難所の生活環境改善をはじめ、防災・減災に必要な車両や資機材の整備を積極的に進めることを目的として、具体的には、トイレカーやトイレトレーラー、キッチンカーやキッチンコンテナ、ベッド等の設備が対象。災害時の市民の安全・安心の確保に大きく寄与する。 →次ページ</p>	<p>(1) 大規模災害時の避難所の現状と課題について</p> <p>(2) 新しい地域経済・生活環境創生交付金に創設された「地域防災緊急整備型」の活用と市民への周知と防災意識の向上について</p>	<p>① 現在、市内の指定避難所（地震）には、空調についてどのような設備が備えられており、どのような課題があるのか、現状について質問する。</p> <p>② 過去の災害時において、上記避難所の生活環境の改善が求められた具体的な事例があれば、全国での事例と併せて質問する。</p> <p>① 本市として、この交付金を活用する考えがあり申請中と聞いている。交付金を活用するためには「実施計画」の提出が求められていた。短期間での申請であったとも聞いている。どのような設備の整備を優先的に進める実施計画となっているのか質問する。</p> <p>② 市民への周知や防災意識の向上は重要である。本市としてどのような周知活動を行う予定か質問する。</p> <p>③ 地域住民との連携を強化し、防災訓練の実施や、実際の避難所運営のシミュレーション、防災マルシェ等を行うことも有効と考える。こうした取り組みについての市の方針はあるのか質問する。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
 2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
 3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

15番	池田 信子 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>さらに文部科学省は、災害時に避難所となる公立小中学校体育館について、空調を整備する自治体への特例交付金を新設した。こちらも関連工事を含めた費用の2分の1を補助。こうした国の交付金を活用して、現在、担当部局では設計業務が行われている。LPガス仕様の空調を導入し避難所の防災力を強化することは重要と考え、県内でも早期に導入している事例を参考に質問する。</p> <p>資料添付： ジチタイワークス VOL. 36 「愛知県清須市： 自立発電可能なLPガス 災害対応バルク P58.59」</p>	<p>(3) 避難所の環境整備 (小中学校体育館の空調設備) について</p>	<p>① 現在の設計業務の進捗について、断熱性能の向上と併せた空調整備の導入も期待したい。どのような検討が行われているのか質問する。</p> <p>② 空調設備といっても整備事例には電気・都市ガス・LPガスと選択肢がいくつかある。どのような検討がされているのか質問する。</p> <p>③ 設計業務を終え、空調設備の種類等について、どのように優先順位をつけ、誰が最終的に決定していくのか質問する。</p> <p>④ 愛知県清須市の取組みを紹介する。2000年に発生した東海豪雨によって甚大な被害を受けた清須市では、補助金を活用して避難所設備を充実化している。2022年市内全ての小中学校、全12カ所の体育館に、自立発電可能なLPガス災害対応バルクを一斉整備し、防災力強化と教育環境充実を果たしている。昨今の気候変動を見据えた取組みとして、既存インフラに頼らないエネルギーで避難所が抱えるリスクを低減。住民の生命や財産を守るために、よりよい対策を考え続けている。こうした先進事例を参考に、国の交付金も活用できる絶好のチャンスである。本市においても、災害時にも早期に供給可能なLPガス仕様の自立発電可能なLPガス災害対応バルクを一斉整備し、避難所の防災力を強化することは重要と考え、導入を提案したいがどうか。市長の防災への想いと導入の方向性を質問する。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。